

「玉名市街地↔新玉名駅」のアクセスが向上します！
県道 玉名立花線（河崎工区）のバイパス供用開始のお知らせ

熊本県が玉名市河崎で整備を進めてきた主要地方道玉名立花線（河崎工区、延長約0.9km）のバイパスを供用開始しますので、お知らせします。

- 1 供用日時：令和7年（2025年）12月6日（土） 12時
- 2 供用区間：自）玉名市秋丸～至）玉名市両迫間
- 3 事業概要
 - 事業延長：約0.9km
 - 道路幅員：10.5m（片側1車線、片側歩道あり）
- 4 事業効果
 - (1) 玉名地域の観光振興、産業・経済の活性化に寄与
(玉名市街地、新玉名駅へのアクセス向上)
 - (2) 道路利用者の利便性・安全性向上
(大型車両が通行可能、歩道整備)
 - (3) 救急医療活動の支援
(くまもと県北病院へのアクセス向上)

※今回の供用開始に伴う式典はありません。

12時にバリケードを撤去し、随時供用開始いたします。

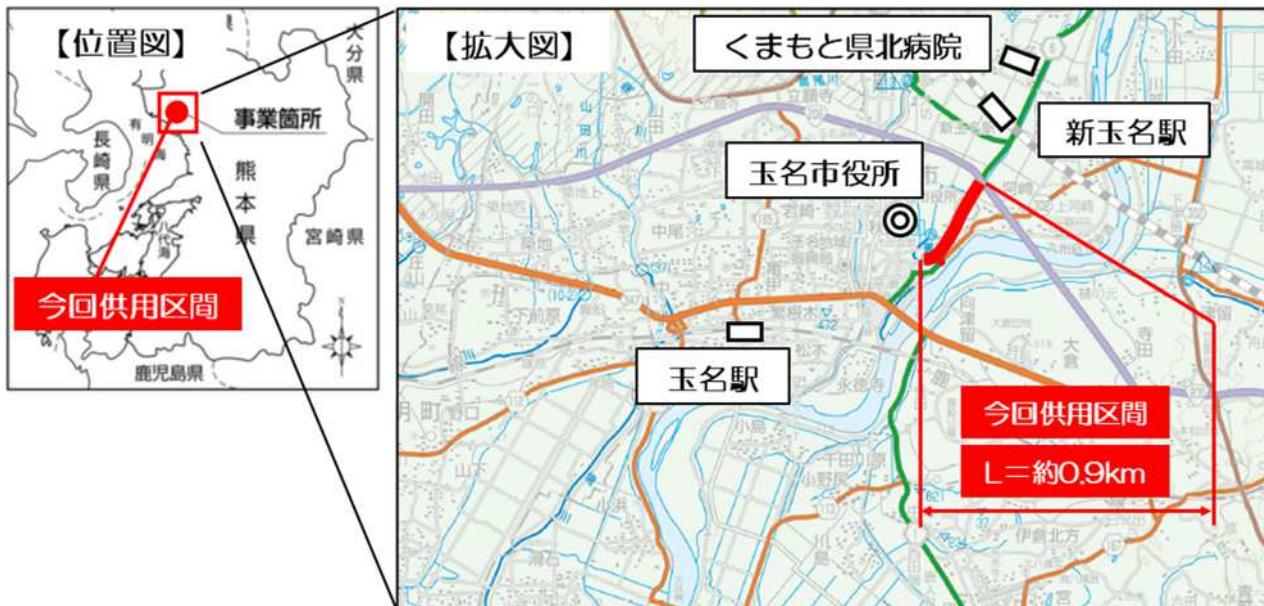
なお、悪天候の場合は、供用開始時間が変更となる可能性があります。

主要地方道 玉名立花線(河崎工区)の整備概要

主要地方道玉名立花線は、玉名市の県道寺田岱明線を起点とし、福岡県八女の国道3号を終点とする幹線道路であるとともに、玉名市内から菊水ICへのアクセス道路としても重要な道路です。

しかし、現在の県道は、歩道がなく、道路幅員も狭いため小学校へ通学する児童や車両の安全な通行に支障をきたしている状況です。

玉名市玉名地区における本バイパス整備により、新玉名駅と玉名市街地を結ぶアクセス道路が完成し、観光交流及び物流の活性化が図られるとともに、安全性が向上します。さらに、県北エリアの中核的な病院であるくまもと県北病院へのアクセスも改善され、地域住民の安心につながります。



【標準断面図】

